

進学先の種類

1、4年制大学

修業年限（学ぶ期間） 4年

学校の特徴 大学はすべて文部科学省の認可を受けた学校で、私立が約7割を占めます。大学は、専門の学問の教育、研究を行う場であり、「学部」という単位で構成されています。学部はさらに学科、専攻に分かれています。大学には、一般教育科目・外国語科目・保健体育科目・専門科目の4つに分類された科目があり、科目を履修することで、単位が与えられます。必修科目もあれば、自分で選べる選択科目もあります。原則的に4年間で124単位以上（※医・歯・薬・獣医学部は6年間）を修得すれば、卒業できます。卒業すれば「学士」という学位が授与されます。

2、短期大学

修業年限（学ぶ期間） 2年（3年の所もある）

学校の特徴 一部医療技術系を除き、修業年限は2年間で、卒業すると「準学士」の学位が授与されます。大学との大きな違いは、より実学的で資格や技術に直結した教育が行われる点です。卒業時に取得できる資格もたくさんあります。大学への編入をバックアップしてくれる短大も多く、本人の努力次第で大学に編入学する道もあります。

☆大学・短大などの夜間学部

学校の特徴 仕事などの理由で昼間部の課程で学ぶことが困難なもののための学部。働きながら職業に必要な専門的な学問を修めることができる。昼間部に比べて学費が安い。

☆通信教育課程

学校の特徴 自宅での学習、添削指導などによって知識・技能を身につける。スクーリングもある。

3、専門学校

修業年限（学ぶ期間） 1年～4年

学校の特徴 専修学校の一つで、高等学校もしくは高等専修学校を卒業していないと入学できません。専門課程が設置され、卒業すると「専門士」の学位が授与されるコースもあります。現役で活躍中の講師から、ニーズを反映した講義や指導を受けたり、現場環境に近い設備が揃っているなど、さまざまな職業にダイレクトに結びついた実践的な教育を行っています。大学が学問を学ぶ場なら、専門学校は技術と資格を得るための場といえるでしょう。体験入学や説明会も頻繁に行われていますので、設備や講師の顔ぶれ、就職次のバックアップ体制など、充分検討したうえで入学を決めることをおすすめします。

4. その他の学校

- 大学校（防衛大学校、防衛医科大学校、海上保安大学校、国立看護大学校、航空保安大学校、水産大学校、気象大学校、農業大学校、職業能力開発大学校など）

修業年限（学ぶ期間） 2年～4年

学校の特徴 文部科学省以外の省庁が幹部や指導者の育成を目的として設置した高等教育機関です。防衛大学校、防衛医科大学校、航空保安大学校、国立看護大学校、気象大学校、海上保安大学校、水産大学校、職業能力開発総合大学校の8校があります。防衛大学校、防衛医科大学校、航空保安大学校、気象大学校、海上保安大学校の5大学校に入学すると、身分は国家公務員となり、月額約10～15万円前後の報酬が与えられます。もちろん授業料は不要です。